

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	長 崎 県
-------	-------

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	長崎県上県町立佐須奈小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	12
児童数	15	16	17	8	18	6	1	81	

研究の概要

1. 研究主題

<p>生き生きと学び合う子どもの育成 ～算数科・指導法の工夫を中心として～</p>

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<p>・1～6年生・算数 昨年度からの継続研究であることと、子どもの理解度に差が出やすい教科であるため</p>

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>○テーマ 生き生きと学び合う子どもの育成 ～基礎・基本の定着をめざして～</p> <p>○仮 説 「心豊かでたくましく生きる」土台となる基礎・基本を心と学力の両面からとらえ、それぞれの場でそれぞれの手だて(内容・方法にあるような)を取ることで学習に向かう意欲が高まり、その姿勢を積極的なものにし、学力を定着させることができるであろう。</p> <p>○研究内容・方法</p> <p>1 学校生活において、あいさつ、礼節、健康などの基本的生活習慣の徹底を図る。また「なかよしタイム(毎週金曜日・業間)」や総合的な学習において「縦割り班を生かした体験活動」をさせることを通して、コミュニケーション能力、豊かな人間関係の育成を図る等、心の基礎基本の向上を目指し、学力面への有益な効果をねらう。</p> <p>2 国語科、算数科において、T・Tを生かしたわかる授業を目指し実践したり、授業の中で基礎基本に関する反復練習を取り入れたりする。</p> <p>3 朝の活動において「漢字チャレンジ」「算数(計算)チャレンジ」「体</p>
--------	--

	<p>力づくり」「読書タイム」の時間を設定する。そして、特に「漢字」「算数（計算）」については自己評価活動を取り入れる。</p> <p>4 「漢字」「算数（計算）」においては定期的（月に1回程度）に習熟の診断を行い、全校的な統計を出していく。そして、学力向上の研究への課題を明確にし、研究の方途を明らかにする。また、情報を保護者に提供することにより、地域を取り込んだ学力向上への取り組みを行う。</p>
--	---

平成15年度	<p>○テーマ 生き生きと学び合う子どもの育成 ～算数科・指導法の工夫を中心として～</p> <p>○仮説 1 「心豊かでたくましく生きる」土台となる基礎・基本を心と学力の両面からとらえ、それぞれの手だてをとる。そのことによって、学習に向かう意欲が高まり、その姿勢を積極的なものにし、学力を定着させることができるであろう。</p> <p>○仮説 2 学力向上研究の検証や診断、情報の公開を行う。そのことが、開かれた学校づくりの一翼を担うことになり、さらには研究の方途を明らかにするであろう。</p> <p>○研究内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 算数科において、算数的活動を取り入れることにより基礎的な知識と技能を身に付けさせ、問題解決能力の育成を目指す。 2 朝の活動に「読書」「算数チャレンジ」「音読・暗唱」「体力づくり・集会」「漢字チャレンジ」の時間を設定し、充実を図ることで基礎的・基本的技能の習熟を図る。 3 小中の連携を図るための共通理解と同じ目的に立った小中それぞれの実践を行うことにより、9年間のスタンスで見た学力の向上を目指す。 4 学校生活において、あいさつ、礼節、健康などの基本的な生活習慣と態度の徹底を図る。また、総合的な学習の時間等において、「縦割り班を生かした体験活動」を行うことを通して、ものや人との豊かな関わり合いを持たせる等、心の基礎・基本の向上を目指し、学力面への有益な効果をねらう。 5 「国語科」「算数科」において、定期的に習熟の診断を行い、全校的な統計を出していく。そして、学力向上の研究課題を明確にし、研究の方途を明らかにする。 6 本校の研究に関する「どん子も通信」の発行など情報を保護者に提供することにより、地域を取り込んだ学力向上への取り組みを目指し、特色ある学校づくりの一翼を担う。
--------	---

	<p>テーマ 生き生きと学び合う子どもの育成 ～確かな学力の向上をめざして～</p>
--	--

○仮説 1

「心豊かでたくましく生きる」土台となる基礎・基本を心と学力の両面からとらえ、それぞれの手だてをとる。そのことによって、学習に向かう意欲が高まり、その姿勢を積極的なものにし、学力を定着させることができるであろう。

○仮説 2

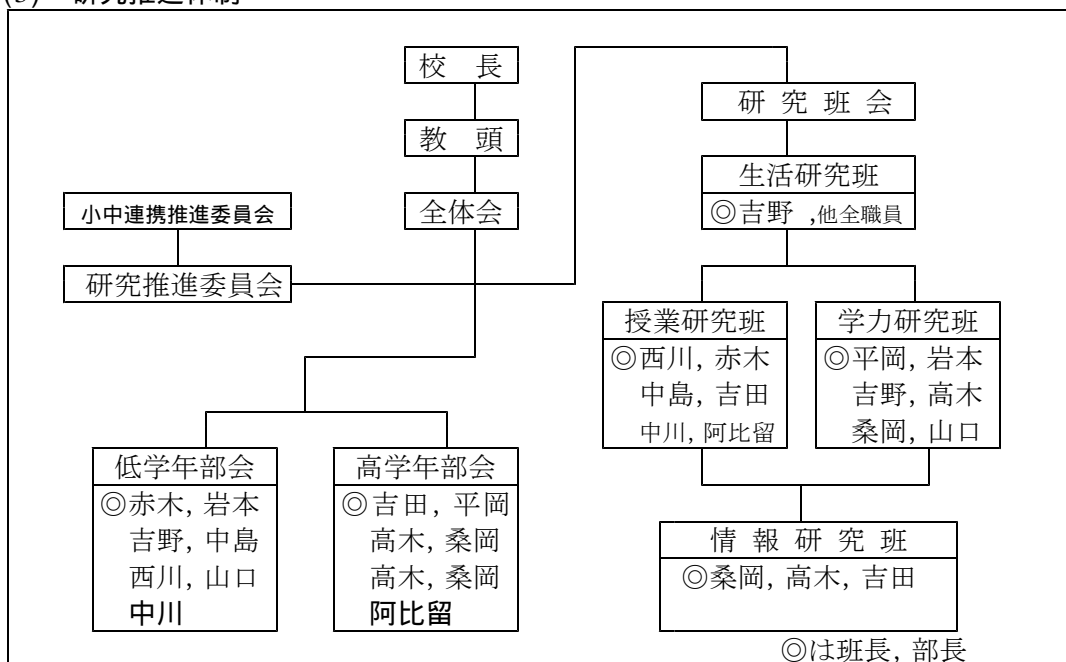
学力向上研究の検証や診断、情報の公開を行う。そのことが、開かれた学校づくりの一翼を担うことになり、さらには研究の 方途を明らかにするであろう。

研究の内容・方法

平成
16
年
度

- 1 研究の重点課題を絞り、実践力・指導力の向上を図る。
 - (1) 課題解決学習の研究
 - (2) 表現力の育成
- 2 朝の活動の創意工夫
- 3 小中の連携（小学校の基礎基本の確実な定着）
 - (1) 漢字検定制度の改良
 - (2) 算数段位設定への新たな取り組み
- 4 心の基礎基本の定着と実践化
 - (1) 縦割り班活動の充実
 - (2) 意欲を引き出す場の設定
- 5 習熟の診断
 - (1) 学力テストの診断と分析
 - (2) 単元テストの診断と分析
- 6 情報公開
 - (1) 学校だよりの発行
 - (2) HP の内容の充実

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

単元テスト 14年度との比較

学力の変容をはっきりとした数値で見えていくためには、単元テストの点数を昨年度の同学年のものと比較する方法がある。但し、クラスが違ふことによる個人差が随分あるので、点数だけの単純な比較だけでは確かな検証はできない。そこで、全国標準学力検査の領域別全国比も加味しながら検証した。

「本校単元指教(換算点)」=「素点」÷「学力検査同領域全国比」で求める。全てのクラスが学力検査全国比が100であった場合に、素点が何点という価値があるのかということの数値で出したものである。

単元名	領域	14年度児童			15年度児童		
		素点	学力検査 同領域全国比	本校単元指教 (換算点)	素点	学力検査 同領域全国比	本校単元指教 (換算点)
平均	—	87.3	—	87.2	88.1	—	88.0

【5年生：Cレベルの児童2名の単元テストの素点】

	小数と整数 のしくみ	小数のかけ算 とわり算1	小数のかけ算 とわり算2	垂直・平行 と四角形1	垂直・平行 と四角形2	平均点
児童A	55	70	65	80	85	71
児童B	60	65	65	90	100	76

単元テストを昨年度と比較してみると、素点で0.8点、本校単元指教において0.8点上がっている。特に5年生の伸びが顕著であった。5年生は平均素点で8.6点、本校単元指教では22.1点も向上している。(別紙資料添付)5年生には、全国学力検査の結果においてCレベルの児童が2人いる。そしてまた、4領域の中で3領域が全国平均に達していないという大きな2つの実態からも、新年度からすぐに習熟度別学習に計画的に取り組んできた。もちろん、そのねらいは「全児童に理解させること」であり、単元テストの伸びはその成果の表れであろう。

2. 今後の課題

全職員が、問題解決学習の研究授業を頻繁に見せ合い、腕を磨く。そして、新たな課題を発見し、今後を生かしていく。

問題解決学習のキーポイントとなる「練り上げ」の場面は、「表現力」と大いに関わっていることから、全校挙げて「表現力の向上」に取り組んでいく。

以上の2点を大きな課題にし、15年度の研究内容を充実させていく。

1 研究の重点課題を絞り、実践力・指導力の向上を図る。

(1) 課題解決学習の研究

(2) 表現力の育成

2 朝の活動の創意工夫

3 小中の連携(小学校の基礎基本の確実な定着)

(1) 漢字検定制度の改良

(2) 算数段位設定への新たな取り組み

4 心の基礎基本の定着と実践化

(1) 縦割り班活動の充実

- (2) 意欲を引き出す場の設定
- 5 習熟の診断
 - (1) 学力テストの診断と分析
 - (2) 単元テストの診断と分析
- 6 情報公開
 - (1) 学校だよりの発行
 - (2) HP の内容の充実

学力等把握のための学校としての取組

- 1 TK 式領域別全国標準学力検査（15 年度 5 月実施，16 年度 5 月実施予定）
 - ・客観的な学力の診断を行うことにより，全校・学級の傾向を知るとともに，個に応じた指導に生かすため。
- 2 単元テストの分析（全国学力検査の結果を加味して）
 - ・クラスが違うので，単元テストの素点だけでは比較できない。そこで，全国学力検査の全国比も加味しながら，より高い信憑性を求めて診断していく。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 1 学力向上フロンティア事業中間研究発表会開催（H15.10.31）
- 2 対馬地区小学校教育課程研究協議会にて実践発表（H14.7 ,H15 . 7）
- 3 ホームページ完成（H15 . 9）

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15 年度からの新規校 14 年度からの継続校
- 【学校規模】 6 学級以下 7 ~ 12 学級
 13 ~ 18 学級 19 ~ 24 学級
 25 学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T . T による指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無